

## PRCA ファイナル 2013 参加要項&レギュレーション

### ◇参加資格

0-0 イベント開催中に起こる損害、トラブル等に関しては、参加者がすべての責任を負い、主催者側、コース管理者には責任を追求しないものと誓ったもの

0-1 PPC・OC への参加：スポーツマンシップに則り、不正を行わない、走行中は接触しないよう心がけるなど、レースマナーを重んじるすべての者が参加する事ができる

0-2 AC：スポーツマンシップに則り、不正を行わない、走行中は接触しないよう心がけるなど、レースマナーを重んじる者が参加する事ができる

但し、メーカーからのサポート選手、IFMAR 世界選手権出場経験を持つ選手、JMRCA 全日本選手権 1/10 ツーリングカテゴリースーパーエキスパートクラス、およびオープンクラスへの出場経験を持つ選手、過去3年間に JMRCA 全日本選手権、上位 20 位以内に入賞した経験を持つ選手の出場は、原則として認めない

### ◇送信機および受信機

1-1 原則 2.4GHz 帯のみの使用とする

但し、27MHz 帯、及び 40MHz 帯の使用を希望する場合は、変更の為に必要となる各種バンドを持参し、使用バンドの変更、レース中の送信機の管理を、レース運営側により管理できるようにする事で使用可能とする

また、使用できるバンドは下記に記載されたもののみとする

01	29.975MHz
02	26.995MHz
03	27.025MHz
04	27.045MHz
05	27.075MHz
06	27.095MHz
07	27.125MHz
08	27.145MHz
09	27.175MHz
10	27.195MHz
11	27.225MHz
12	27.255MHz
61	40.610MHz
63	40.630MHz
65	40.650MHz

67	40.670MHz
69	40.690MHz
71	40.710MHz
73	40.730MHz
75	40.750MHz

#### ◇車検

##### 2-1 前車検：各ヒート前に車検を行う

タイヤ処理開始時間までに前車検に通過しない車両は、そのヒートへの参加が認められない為、各参加者は、各自車検に通過するよう事前に調整しておく事

レース前車検を受けた選手は、レースで使用するタイヤを受取ることができる

タイヤは袋に入れたまま、レース前タイヤ処理場の前で待機

##### 2-2 後車検：各ヒート後に車検を行う

ヒート走行後は、後車検場へ車を持っていき、次のヒートの開始30秒前までにコースマーシャルにつくこと

コースマーシャルを行わない場合は、そのヒートの記録が抹消となる

後車検は、選手がコースマーシャルを行っている間に、車検員により行う

ヒート終了後にて、車重が規定に満たない場合は、そのヒートの記録を抹消される事になるので、走行後でも車重が規定内に収まるよう調整をしておく事

後車検が完了した車両は、後車検済車両保管所から車両を受取り、タイヤ取外し場にてタイヤを取外し、規定の袋に入れて係員に渡すこと

タイヤ取外し後、タイヤ取外し場にて、瞬間接着剤によるタイヤの修復、組替、指定クリーナーのみによるタイヤの後処理を行う事ができる

後車検を受けない車両、後車検後、タイヤを返却しない場合等、そのヒートの結果を抹消されますので十分に注意すること

#### ◇タイヤコントロール

##### 3-1 使用タイヤ：走行に使用するタイヤは、指定されたコントロールタイヤのみとする

##### 3-2 レースエントリー時に1台分のタイヤが支給される

タイヤ支給時、もしくは購入時に購入したタイヤの組替、タイヤセッターの使用、瞬間接着剤による再貼付、指定クリーナーによる拭き取りを行うことができる（一度保管したタイヤに対し、タイヤセッターは使用不可）

##### 3-3 支給、もしくは購入したタイヤは、ホイールの指定された場所へ指定されたシールを貼付けてから、係員によるマーキングを受け、袋に入れて係員に手渡すこと

##### 3-4 支給されたタイヤ、および購入したタイヤは、ピットに持ち帰ることはできない

タイヤに関するすべての作業は、タイヤ支給ブース、レース前タイヤ処理場、タイヤ取外し場に

て行うこと

- 3-5 フリープラクティスでは、レース用に支給されるコントロールタイヤの使用を認めない  
フリープラクティスに参加される選手の方は、各自フリープラクティス用タイヤを用意すること
- 3-6 コントロールプラクティス、予選（5回）、決勝を含め、支給されたタイヤに加え、2台分のタイヤを追加購入する事ができる  
但し、PPC、及びOCのAメインに残った選手へは、決勝用として2台分のタイヤが支給される  
ACのAメインに残った選手へは、決勝用として1台分のタイヤが支給される  
各クラスのAメインにおいては、決勝用に支給されたタイヤのみ使用できる
- 3-7 レース前タイヤ処理場にてできる事
  - 3-7-1 車体へのタイヤの取付
  - 3-7-2 指定グリップ剤の塗付
  - 3-7-3 剥がれた箇所への瞬間接着剤による補修
  - 3-7-4 タイヤウォーマーの使用（持込の場合は、タイヤ接着面の確認を行う）  
レース前タイヤ処理場へは、タイヤウォーマー用として5台の安定化電源を用意致します
  - 3-7-5 タイヤセッターの使用は禁止
- 3-8 タイヤは支給時、購入時に提示された個数（約10セット）から触れずにランダムで選ぶことができる（1度引いたタイヤは、いかなる場合も、交換をすることはない）

◇ボディ規定

- 4-1 2013年度、JMRCAにて認可されたボディに限る
- 4-2 リア部分のカットライン：35mm以下
- 4-3 全高：地上より115mm以上
- 4-4 ウィング：JMRCAの規定に準ずる（翼端板を含め、地上より115mm以下）
- 4-5 車重：走行後の全装備重量1380g以上

◇モーター規定

- 5-1 2013年度時点において、JMRCAにて認可されたモーターの使用を認める  
その他のモーターに関しては、PRCAに申請し、使用が可能と認められたモーターの使用を認める  
PRCAにて認められたモーターは、PRCAホームページに記載されているものに限る

◇バッテリー規定

- 6-1 JMRCAの規定に準ずる
- 6-2 イベント開催期間中の充・放電は、いかなる場合も、Lipoセーフティーバックの使用を義務とする